

医療・介護、生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

在宅医療・介護連携推進事業
医療・介護連携コーディネーター

生活支援体制整備事業
生活支援コーディネーター

いきいきシニア活動推進事業
いきいきシニア活動支援コーディネーター

医療・介護支援の必要な高齢者の増加

単身世帯等の増加、軽度の支援を必要とする高齢者が増加

元気高齢者の生きがいや介護予防の推進

医療・介護の相談

- 在宅医療・介護に関する相談支援
- 医療・介護関係者との関係づくり
- 在宅医療と介護の連携推進

- ・医療・介護に関する相談窓口
- ・退院の際の介護関係者との連絡調整
- ・地域包括ケアに関する会議への参加
- ・地域ケア会議での助言・情報提供

生活支援サービス

- 住民、ボランティア、NPO、民間企業等多様な主体によるサービス提供



- ・地域サロンの開催
- ・見守り、安否確認
- ・外出支援
- ・買い物、調理、掃除などの家事支援等

高齢者の社会参加

- 現役時代の能力を活かした活動
- 興味関心がある活動
- 新たにチャレンジする活動

- ・一般就労、起業
- ・趣味活動
- ・健康づくり活動、地域活動
- ・介護、福祉以外のボランティア活動等

介護の担い手としての社会参加

地域住民の参加

生活支援の担い手としての社会参加

R
元重
年点
度事
の業

- ・「急変時の対応」「終末期の意思決定」「入院支援」などの多職種連携の体制やルールづくりと市民への普及啓発
- ・疾病の重度化、介護予防

- ・地域の支え合いづくり
- ・新たな資源の創出や、担い手の養成
- ・地域課題の把握と地区の支え合い

- ・健康福祉センターでの活動拠点充実
- ・パソコン、ITクラブ等の自主活動の推進
- ・男性の日常生活スキルアップ(調理等)

生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

- 単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、生活支援の必要性が増加。ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要。
- 高齢者の介護予防が求められているが、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。
- 多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置などについて、介護保険法の地域支援事業に位置づける。

